

立命館経済学

第 48 卷 第 4 号

1999 年 10 月

坂野 光俊教授退任記念論文集

内 容

坂野 光俊教授退任記念論文集の刊行にさいして……………山 田 彌	1
財政危機と財政改革……………鶴 田 廣 巳	5
産業のグローバル化と公共事業……………東 郷 久	28
EU 構造基金とスウェーデンのリージョン……………藤 岡 純 一	42
災害の政治経済学の展開と課題……………宮 入 興 一	59
現代の社会保障と規範論アプローチ……………山 田 誠	82
——社会契約主義, 国家中心主義と効用主義——	
ニューヨーク市の構造転換と分極化……………横 田 茂	111
国際会計基準の導入と税・財政政策の課題……………飯 野 公 央	134
国防削減下におけるアメリカ軍事産業の再編過程……………河 音 琢 郎	146
世界開発ネットワークと大学……………堀 田 牧太郎	166
少子高齢化が地方財政に与える長期効果に関する分析…本 田 豊	177
——岐阜県大垣市を事例として——	
The Impact of Capital Tax Competition on Public Input Provision in the Presence of Intersectoral Substitutability and Interindustry Factor Mobility……………松 本 睦	198
坂野 光俊教授略歴・主要著作目録……………	209

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第48巻・第2号

論 説

日本の海外直接投資の変動と国内経済……………稲 葉 和 夫

Integrating CALL into a New EFL Program ……………野 澤 和 典

日・米・加製造業における自己資本経常利益率
決定メカニズムの解明……………伊 藤 研 一
道 明 弘
井 澤 裕 司

単変量時系列の分析……………浅 井 学

翻 訳

林美莉「近年の台湾における抗日戦争期経済史・社会史
研究の動向」……………金 丸 裕 一

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第48巻・第3号

芦田 文夫教授退任記念論文集の刊行にさいして……………山 田 彌

変貌する極東ロシア研究序論……………望 月 喜 市

ロシアにおける体制転換と資本・賃労働関係の形成……………小 野 一 郎

今日の市場問題と市場理論……………三 好 正 巳

「社会主義」の概念規定に関する理論的研究……………杉 野 隼 明

国際経済論研究の諸課題……………岩 田 勝 雄

Globalization and Multilateral Agreement on
Investment (MAI)……………山 浦 雄 三

ハンガリーは民営化のなかでどのような所有構造に達したのか ……田 中 宏

ロシアの市場経済化と経済主体の取引行動……………溝 端 佐 登 史

資本の過多とその価値実体……………山 本 幹 夫

——利子生み資本論の段階における資本の過多把握の一視点——

株式相互持ち合いの「解消」について……………鈴 木 健

ボリス・ブルツクス……………森 岡 真 史

——活動と著作の概観——

芦田 文夫教授略歴・主要著作目録

発行所 立命館大学経済学会